

1 資料

①男性

史料A. 「戦争はロマンティックで荒々しい男の冒険, そう思い描かれていた・・・。」
(オーストリア作家ツヴァイク『昨日の世界』)

史料B. 「万歳!とうとう明日の11時に集合せよとの命令が下りました。今朝知り合いの婦人に会いました。平服姿を見られるのが恥ずかしいぐらいでした・・・。」
(『ドイツ学生の手紙』岩波新書)

史料C. 膠着した戦場にて・・・「戦闘は激烈に続いている。・・・新たな攻撃もまた幾十万の人命を失って終わるのだ。いつ・・・いつ・・・まで?戦争はとっくに勝負がついているのに、なぜまだ続くのか。依然としてドイツの存亡やその勢力の興廃が問題なのか・・・。」
(『ドイツ学生の手紙』)

史料D. 第一次世界大戦中のポスター

「イギリス人の女性は行けとい
う」と書かれてあり, 男性の参戦
意識を高揚するポスター

②女性

史料A. 「愛しい人よ、君には仕事の時にズボンをはいてほしくない。僕はそういう格好にうんざりしている。君は決してそんなものを身につけないだろうが、もしズボンをはいているのなら、ぼくにはそんな姿を見せてほしくないし、僕と会う前に脱いでほしい。(中略)君が何をしようが、女性らしさを失ってほしくない。僕は君がかよわい女性だからこそ君を愛している。僕が君に軍需工場の仕事から身を引いてほしいと思っている唯一の理由は、粗野で男みたいな気質が育てられるかもしれないと思っているからだ。

(T. G. Fウィルビーが婚約者にあてた手紙)

史料B. 第一次世界大戦中の写真・ポスター

1

女性たちが工場などで
働いているポスター

2

女性の工場での勤労意欲
を鼓舞するポスター

③資本家

史料A. 「・・・その日、イギリス軍の砲撃は、物凄い威力を発揮した。弾幕がちょっと途絶えたのを見すまして、血だらけになった一人のドイツ兵が分隊長のところにいざり寄ってきた。「分隊長殿、ちょっ、ちょっと、これを見てください！自分たちは味方から撃たれてるんです！」「ばかな！おまえ、頭がおかしくなったのじゃないか。しっかりしろ！」そう気合をかけながら、兵隊のさし出す不発弾の信管を手にとって見た分隊長の顔はサッと蒼ざめ、続いて憤りのため紅潮した。それはまさに、ドイツ軍の威力クルップ砲の複働信管九六号そのものであった。味方の砲兵が味方の歩兵を打つ。・・・激戦の最中にはとかくありがちだ。だが、後方の砲兵陣地と電話で連絡したドイツ軍の前線司令部は予想外の返事をうけとった。砲兵陣地は絶対に味方を打ってはいない、というのである。では、この砲弾はどこから飛んできたのだろうか。まさに、敵陣から、イギリス砲兵陣地から。それは、イギリス最大の兵器会社ヴィッカーズ製の榴弾であった。ただ、この砲弾に設置されたkp二六九・一〇四の符号のついた信管は、ヴィッカーズがドイツ最大の兵器トラストであるクルップからパテントを買って製造したものであった。

(岡倉古志郎『死の商人』頸草書房)

史料B. 第一次世界大戦中のポスター

1

自由の女神が電話を受信
しており、自由を守るた
めに即時の戦債購入を募
集するポスター

2

男性は戦場、女性は工場、
資本家は資金、それぞれの
立場での戦争協力を求める
ポスター

④植民地の人たち

史料A. 「わたしは・・・戦争が続いている間、私たちの要求をつきつけないほうがかえって適当であり、将来を考えることである、と判断した。だからわたしは、・・・人々に志願兵に応募するように呼びかけた。・・・わたしは、イギリス帝国を通じて、自分と自分の民族の現状を改善しようと期待していた。」

(『ガンディー自伝』中央公論社)

史料B. 第一次世界大戦中のポスター

<p>1</p> <p>アイルランドに戦争協力を求めるポスター</p>	<p>2</p> <p>オーストラリアにイギリスの仲間として戦債購入と戦争協力を求めるポスター</p>
<p>3</p> <p>インドに志願兵を募集するポスター</p>	

「家族を助ける最善の方法は、インド軍に加わることだ」と書かれている

⑤社会主義者

史料A. 「言葉をかえて言うと」と、ジャックはきっぱり言いきった。「つまり、フランスの社会党代議士は、軍事予算に賛成しようというわけなのか?」「といて、まさか反対もできないし」「できない?」「少なくとも票決に加わることをしないだろうな」とラップが言った。

「ああ」とジャックが叫んだ。「ジョーレスが生きていたら!」「ふん・・・こうした状況に直面したら、《おやし》にしても反対投票はできまいさ」「だが」と、ジャックはわれを忘れて口に出そうとした。「そうした侵略国家と被侵略国家との区別について、ジョーレスは、いやというほど、それがいかに愚劣なものであるかを叫んでいた!・・・きみたちは、われらを目下窮地に追いこんでいる真の原因、すなわち、資本主義とか、各国政府の帝国主義的考え方とかを忘れているらしい! たとい最初の敵対行為がどんな外見のものであろうと、国際社会主義者は、まさに戦争に反対して一あらゆる戦争に反対して、決起しなければならないんだ! それでなければ・・・!」・・・(中略)・・・ジャックは沈み込んでいた。・・・「もうおしまいだ。もう社会主義者なんていないのだ。いるものは、社会主義的愛国主義の手合いばかりだ」

※ジョーレス…フランス社会党の指導者、第一次世界大戦反対の抗議運動を労働者大衆に呼び掛けたが、1914年7月31日に暗殺される

(ロジェ＝マルタン＝ガール 山内義雄訳 『チボー家の人々』白水社)

史料B. 社会主義に関する動き

1889年	第2インターナショナル結成 ・ドイツ社会民主党、フランス社会党、イギリス労働党などが中心 ・マルクス派が主導→革命路線と議会路線が併存
1912年	帝国主義戦争反対決議(第2インターナショナル)
1914年	加盟している各国の社会主義政党は各国内で政治闘争を中止
1917年	ロシア革命
1918年	ドイツ革命、ドイツ共産党成立

ワークシート③「第一次世界大戦とロシア革命」

<問い> 第一次世界大戦の今までの戦争との違いは何か。

◆それぞれの立場を一つ選択

- ①男性 ②女性 ③資本家 ④植民地の人たち ⑤社会主義者

④

←自分の選んだ立場を記入

(1) 「第一次世界大戦は、今までの戦争と比較して、それぞれの立場の人たちにとって、戦争における役割や態度がどのように変化したのだろう。それぞれの立場で考えてみよう。」

(例)

今までのイギリスの戦争は、自分たちには関係ないと思っていた。むしろ、反乱を起こすチャンスだとか、戦争でイギリスが負ければ自分たちが独立できるチャンスだと思っていた。しかし、今回の第一次世界大戦中では、イギリスが相当困っている。そのため、植民地である自分たちに対しても協力を求めてきた。自分たちを支配するイギリスのために戦ったり、資源や資金を提供したりするのは納得がいかなかったが、もし、この第一次世界大戦で本国に協力したら、戦後に見返りとして独立や自治権を獲得できるかもしれないと期待が高まってきた。

◆発表メモ

(例)

- ・勝てば独立や自治権の獲得など見返りを期待して、戦争に協力するようになった。
- ・戦争に兵隊として参加すれば高い給料がもらえそうだから、積極的に協力するべきだと考えた人が増えた。
- ・オーストラリアもイギリスの仲間として積極的に協力した。
- ・直轄地として支配されていたアイルランドも戦後の自治権獲得の見返りを期待して協力したと思う。
- ・イギリスが負けたら、自国の領土が分割されそうだからイギリスに勝利してほしいと考えて協力したのではないかな。

(2) 「第一次世界大戦において、それぞれの立場の人が戦争に協力したのは義務感だったのか。それとも期待感だったのか。それぞれの立場で考えてみよう。」

(例)

- ・第一次世界大戦に協力したのは、戦後に独立できたり、自治権を獲得できるかもしれないという期待感だったと思う。
- ・オーストラリアは、自治領なので植民地とは少し違う。だから第一次世界大戦に協力したのはイギリスの仲間としての義務感があったと思う。
- ・インド人の支配者層は、イギリスで教育を受けたり、いい給料をもらったりしていたから、第一次世界大戦に協力したのは、義務感もあったと思う。
- ・本国などに物資を輸出してもうかるかもという期待感もあった。

◆発表メモ

①	<p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 国のために勝ちたい。 • 行きたくないけど行かないといけない。 • 冒険に行くようでワクワクする。 • 活躍して英雄になるぞ。 • すぐ終わるから大丈夫。 • 祖国のために戦うという誇り。 	②	<p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 軍工場なら需要が増えて、仕事が増え、大変だが、稼げそう。 • 困難だが、命令だから働かざるを得ない。 • 自分の意思は関係なく強要され参加した。 • 工場で働いて国に自分も貢献できる。 • 働くことで早く戦争が終結できるという期待感があった。
③	<p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 戦争は大きなビジネスチャンス。 • 戦争時に使用する武器がどんどん売れてもうかる期待があった。 • 戦争をすることで経済が止まってしまう、負けたら儲けがなくなりそう。絶対に勝ってほしい。お金でたくさん協力しよう。 	⑤	<p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 帝国主義的な戦争には反対。しかし、負けたら平和な生活は無くなるかもしれないから、協力するしかない。 • 戦争で弾圧が弱まり、社会主義革命を起こすチャンスと期待する人もいた。 • 戦争に協力して、戦後に社会主義者の社会的地位向上を期待しよう。

(3)「第一次世界大戦の今までの戦争との違いは何か。今までの戦争と比較して、人々の役割や態度にどのような変化があったのかに着目して、自分の考えをまとめよう。(できるだけ様々な立場の人たちの視点を入れること)」

今	ま	で	の	戦	争	と	違	い	女	性	が	工	場	で	働	い	た	。	新
兵	器	が	登	場	し	,	植	民	地	が	戦	後	の	自	治	や	独	立	を
期	待	し	て	協	力	し	た	か	ら	,	か	つ	て	な	い	ほ	ど	に	大
規	模	な	総	力	戦	と	な	っ	た	。	ま	た	資	本	家	は	武	器	が
売	れ	る	こ	と	の	利	益	を	求	め	た	り	,	様	々	な	立	場	の
思	惑	が	交	錯	す	る	複	雑	な	戦	争	で	も	あ	っ	た	。		

(4) 自己評価

ア. 第一次世界大戦の発表について

- A 十分な調べができており、その内容や自分の考えが相手に伝わるよう工夫した発表をすることができた。
- B 必要な調べができており、その内容や自分の考えが相手に伝わるよう工夫した発表をすることができた。
- C 必要な調べができなかった。また相手に伝わるような発表をすることができなかった。

イ. 第一次世界大戦の意義について深く考えることができたか。

- A 多様な史料に基づき、様々な立場の視点を取り入れながら、自分の考えをまとめ表現することができた。
- B 史料に基づき、指定された立場の視点を取り入れ、自分の考えをまとめ表現することができた。
- C 自分の意見をまとめることができず、表現することができなかった。

年 組 番 名 前

3 参考文献

(1) 画像について

- ・①の史料 D 画像 (『最新世界史図説タペストリー』 帝国書院, p. 236)
- ・②の史料 B 1 枚目の画像 (『問いから始まる歴史総合』 東京法令出版, p. 97)
- ・②の史料 B 2 枚目の画像 (『詳述歴史総合』 実教出版, p. 128)
- ・③の史料 B 1 枚目の画像 (『問いから始まる歴史総合』 東京法令出版, p. 96)
- ・③の史料 B 2 枚目の画像 (『新詳歴史総合』 浜島書店, p. 111)
- ・④の史料 B 1 枚目の画像 (『問いから始まる歴史総合』 東京法令出版, p. 96)
- ・④の史料 B 2 枚目の画像 (『新詳歴史総合』 浜島書店, p. 111)
- ・④の史料 B 3 枚目の画像 (『問いから始まる歴史総合』 東京法令出版, p. 104)

(2) その他

- ・『世界史の散歩路 史料が語る世界の歴史』 (綿引弘, 聖文新社, 1989 年)
- ・『新 世界史 資料集』 (福島県高等学校世界史学習資料集編纂委員会, 清水書院, 1993 年)
- ・『第一次世界大戦』 (木村靖二, 筑摩書房, 2014 年)
- ・『「歴史総合」の授業』 (歴史教育協議会, 大月書店, 2020 年)